

ホットニュース Hot News

◎図書館ホームページの「利用者のページ」が便利になりました！

1.スマホ利用券はじまります

「利用者のページ」にログインすると、図書館利用カード（バーコード）が表示できるようになりました。利用カードを持ち歩かなくても、ご自身のスマートフォンを使って、本を借りることができます。

※スマホ利用券の利用は本人に限ります。

※スクリーンショットなど画像での利用はできません。



▲スマホ利用券イメージ画像

2.読書記録が残せるようになりました

図書館HPのPC版「利用者のページ」から、読書記録を残す設定に変更できます。読書記録にメモを残したり、履歴を削除したり編集することができます。

※いずれもパスワードが必要となります。パスワードの新規発行・お忘れの方は、図書館HPからパスワードを発行してください。



図書館HP▶



『マンガでわかる話すチカラ』

齋藤孝、安住紳一郎/著 ダイアモンド社

齋藤孝先生と安住紳一郎アナウンサーがわかりやすく話し方のコツを解説。人前で話すことが苦手な人も話し上手になれる本です。



『まいにちゆるふで 筆ペンで書くことがきつともっと好きになる!』

ふでこ/著 日東書院本社

筆ペンで楽しく絵や文字が書けるアイデアが満載!誰かにちょっとした気持ちや言葉を伝えたい本です。

History Inquiry Club 其の256 歴史探訪クラブ

文化財課(博物館) ☎22-1720
吉胡貝塚資料館 ☎22-8060
渥美郷土資料館 ☎33-1127



博物館HP



博物館Instagram

鳥丸資任の宝篋印塔

保美町の農村公園に「鳥丸の墓」と書かれた看板と石塔があります。これは、鳥丸資任という人物に由来するものです。資任は、室町幕府八代將軍足利義政の側近で、大納言のちに從一位准大臣と位人臣を極めた公卿です。將軍の母、日野重子のいとこで、義政の政治を思うままに、有馬持家、今参局とともに「三魔」と呼ばれました。

応仁元(1467)年、將軍の後継をめぐって細川勝元の東軍と山名宗全の西軍が激しい市街戦を展開し、応仁の乱となりました。多くの寺社が焼失し、公卿や僧侶は、地方へ都落ちしました。資任が選んだ保美の里は、以前畠村(福江)などとともに伊勢神宮領伊良湖



▲鳥丸公園にある宝篋印塔

御厨でありましたが、当時は鳥丸家の公卿領でした。

邸宅を焼かれた資任は、志摩国から海路で保美の里に逃れました。『常光寺年代記』に「応仁元年鳥丸殿九月八日出家 法名青誓」とあり、出家し靈山寺二世として16年間暮らし、文明14(1482)年に亡くなりました。『鳥丸家譜』には「文明十四年十二月十五日於参州薨 六十六歳号蓮光院葬同州伊羅古庄常光禅寺」と書いてあります。

資任が保美にあって特筆すべきことは、資任を剃髪した潔堂義俊を開山、自らを開基として堀切に常光寺を建立(応仁2年)したことです。

『蔭涼軒日録』には、没後2年後の文明16年12月16日に將軍義政列席のもと、京都の知恩院で法要が行われたことが記録されています。

靈山寺の裏の保美公民館の西側の公園内には、墓ではなく資任を供養する「宝篋印塔」が建ち、この公園の愛称は、資任にちなみ「鳥丸公園」と呼ばれています。(学芸員 天野敏規)